

未知の課題に挑戦する
探究学習の充実

自分で考え
自分の言葉で表現し、
対話や協働を通じて
納得解を生み出す

「学びの本質を変える」探究メソッド

？を！に

納得解を生み出す

表現する・伝える

新たな価値を創造する

探究学習で育てる力

- 実践力
- 協働解決力
- 言語表現力
- 論理的思考力
- 課題探究力
- 課題設定力

持続可能な社会の構築に参画しようとする意欲や態度

探究学習は、「なぜ?」「どうやって?」など、児童が自発的な疑問を持つことから始まり、その疑問を解き明かそうとする学習である。

課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現→振り返り→新たな課題設定(発見)というサイクルを、発展的に繰り返すことで、答えのない問いに向き合い、自己の在り方、生き方を考えること、自らの可能性に気付く学びである。



探究サイクル



発展的に繰り返す

課題設定

[入口の簡単さ]
気軽に思える簡単な問い
[解釈の多様性]
懐の広さがある問い
[深掘りの可能性]
追求できる深さがある問い

情報収集

[思考ツール]
チャート・マップ etc
[図書館・ICT活用]
アナログとデジタル
[フィールドワーク]
調査・研究・実験・観察

整理分析

- 問題状況における事実や関係を把握し理解する。
- 多様な情報の中にある特徴を見付ける。
- 事象を比較、関連付けして思考、課題解決する。

振り返り

[言語化による内面化]
学びの成果を体感
[観点を決めて対話]
事実、変化、比較、理由、抽出

表現する・伝える

自己の在り方、生き方を考え、実社会に通用する見方・考え方を深め、広げる。

探究学習のポイント

- 「問い」を自ら立てているかどうか**
最大のポイント。調べ学習は既に課題が設定されているが、探究学習は自ら疑問に思ったことを「問い」にし、それに対する「仮説」を立てるといふ部分が不可欠である。
- 探究の「スキル」をきちんと教えているか**
探究学習は、問題解決のプロセスである。基礎的なノウハウやスキルはきちんと教える。それらのスキルを身に付けることが資質・能力を向上させることにつながる。
- 図書館の活用方法を学び、図書館をフルに活用しているか**
学校の中で一番情報が豊富で、書き方や表現方法なども詰まっている「図書館」の活用方法を学び、図書館という場をフルに活用した「情報の収集」を行う。
- デジタルとアナログを、うまくバランス取りながら活用しているか**
自分の頭で考える前に安易にネット検索に依存すると、作業プロセスの思考過程が飛ばされ、思考力の向上を妨げることになる。整理分析、まとめの段階でも同様。
- 学習活動に「フィールドワーク」を取り入れているか**
フィールドワークとは現地・現場での調査・研究のこと。「課題の設定」「情報の収集」の場面においても教室から外に出て、実際に目で見て実態に即した情報を集める。

ポートフォリオ評価

○どのような活動をしたか ○その活動をするときに、どんな疑問をもったか ○その活動を通して、どのようなことを解決しようと思ったか ○どんなことをどうやって調べたか ○調べてわかったことは何か ○さらに調べたくなったことは何か ○さらに調べてわかったことは何か ○調べたことから、どんなことを考えたか ○みんなに聞いてもらいたい事は何か